

YAMA NO
FUTOKORO

04

農業未経験だったからこそ
見える課題を解決したい。

奥
正
好

代表取締役

かしま自然農園株式会社

かしま自然農園の代表を務める奥正好さんは、福岡市の生まれ。鹿島市の耕作放棄地を紹介され、その農地から見える有明海の眺めに惹かれ移住し、農業をはじめました。元々、デザインやWEBサイトを制作する事業やっていたこともあり、自ら事業をすることに抵抗はありませんでした。とは言え、初めての農業。農地の条件などを考慮して、生産をはじめたのはそばでした。さらに、収穫されるそばを使ったスイーツは、地域が抱える課題を解決する糸口になっています。

農業

そば粉専門スイーツ店

中山間地域の魅力

「素人でも生産できる作物を探してたどり着いたのは、そばでした。しかし、私たちの農地で収穫できるそばはわずか。だから、加工品にして販売しようと考えました」と話す奥さん。そこではじめてのがそば粉専門のスイーツ。グルテンフリーなど、健康志向の人に注目され、売り上げを伸ばしています。「加工品は増えゆく耕作放棄地に歯止めをかける手段のひとつ。農業の担い手を増やしていかなければと思っています」奥さんは、自らが成功例になり『儲かる農家』の仕組みづくりを目指し、その先に鹿島市への移住者を増やそうと奮闘しています。



取組

◎取組 1

手探りではじめてそばの栽培も、経験を重ね、面積も拡大中。最初はつながりの薄かった地域の農家さんたちとの関係性も深まり、農家としての知識も実績も増えてきた様子。年に2回の収穫のために、畑で汗を流します。

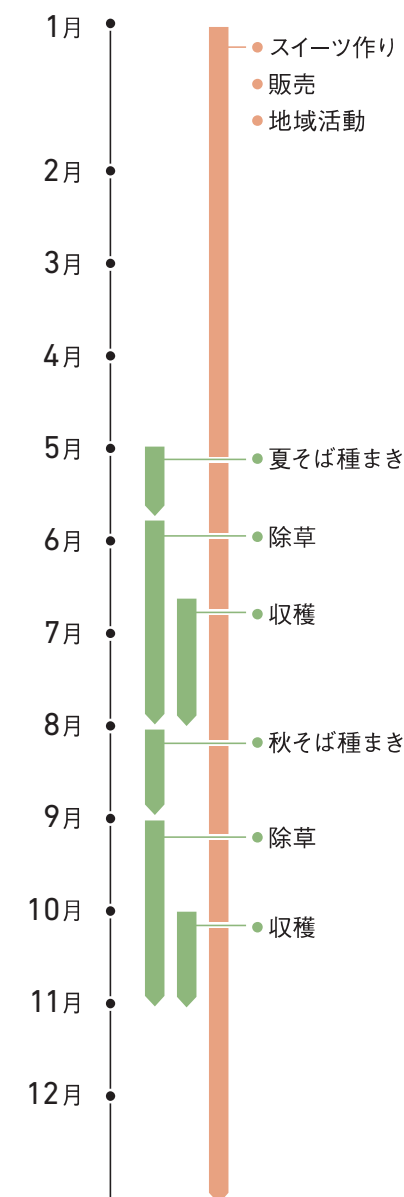


◎取組 2

実は、スイーツづくりも経験がなかった奥さん。動画サイトで作り方を学び、コンビニなどをまわり売れ筋のスイーツをリサーチしたと言います。直売や卸しに加えて、キッチンカーでのイベント出店も好評を得ています。



年間のスケジュール



活用した補助事業

・中山間地休耕田等利用促進事業補助金(市単独)

【主な取組】中山間地域の不整形地(荒廃園・遊休農地)を開墾する際の経費の一部を補助。遊休農地をそば畑に開墾。(R2年度 187,000円)

今後のチャレンジ



これまでの経験、すべてが活かってくる。「同じく耕作放棄地でそばを作っている団体は県内に8つあります。そこから、できるだけ高くそば粉を買い取って加工品づくりを続けたいですね」と話す奥さん。農家の儲かる仕組みをつくり、就農者や移住者を増やし、農地を守ることを今後のビジョンに掲げています。